



東京電力(株)東通事務所 広報誌

ゆきしろみず

Vol 1

夏号

2005.6.20

発行/東京電力株式会社 東通事務所 〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303 TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019
ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/higashidori-np/index-j.html>



発行によせて

この度、みなさま方の温かいご支援により、季刊広報誌「ゆきしろみず」を発行させていただくこととなりました。

東京電力株式会社東通事務所は地元のみなさま方に日頃大変お世話になっております。

地元の企業として数々のイベントや祭り等、様々な行事に参加させていただいている中、これらの思い出を少しでも長く記憶にとどめておきたいという願いもありまして、このような形で発行に至った次第でございます。

暮らしにとって欠かせない電気、その電気事業についての新し

い情報、また、地元の楽しい情報など、盛り沢山の内容でお届けしたいと考えております。また、「東京電力」という私達社員の働く姿も少しずつではありますが、当広報誌で紹介していきたいと考えております。そして、私どもの業務をご理解いただき、地元のみなさま方がお気軽に訪ねていただければより一層ありがたう思うところであります。

今後とも、東京電力株式会社東通事務所広報誌「ゆきしろみず」をご愛読くださいますようよろしくお願い申し上げます。

東京電力株式会社の概要

会社名/東京電力株式会社
 所在地/本店 東京都千代田区内幸町一丁目1番3号
 設立年月日/昭和26年5月1日
 資本金/6,764億円
 株主数/836,331人
 売上高/4兆7,345億円(電気事業営業収益)
 総資産額/13兆4,343億円
 従業員数/38,950人
 販売電力量/2,760億kWh
 契約口数/2,753万口
 最大電力/6,430万kW(平成13年7月24日)
 関係会社数/198社 (平成16年3月末現在)

東京電力株式会社は、昭和26年の設立以降、半世紀にわたり発電・送電・配電一貫体制で高品質な電気を安定してお届けすることにより、戦後社会の発展と便利で豊かな生活を支えてきました。

当社が電気をお届けしている首都圏は、面積では全国の約10%であるものの、人口は日本全体の3分の1を占め、政治・経済の中心です。



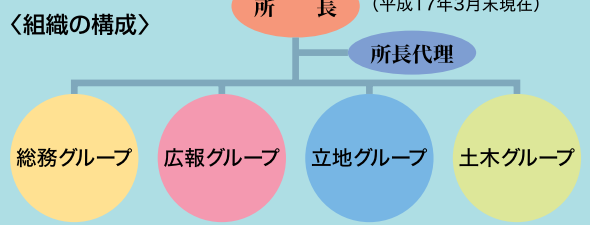
東京電力(株)本店

また、当社の平成16年3月期の販売電力量は2,760億kWhと日本最大で、全国の約3分の1を占めており、イタリア一国を上回る規模です。

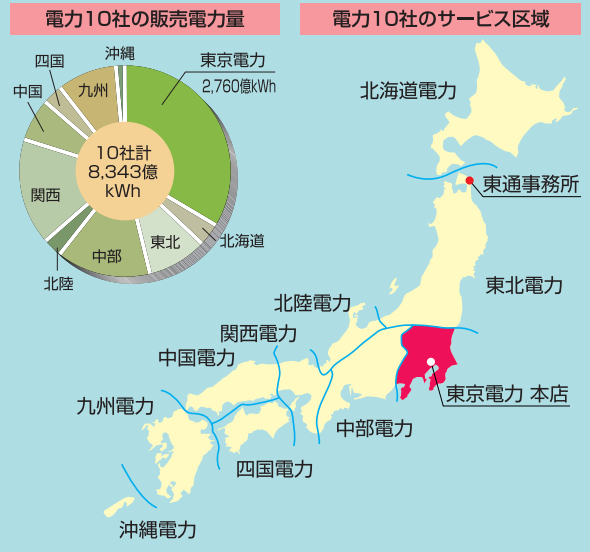


東京電力株式会社東通事務所の概要

事務所名/東京電力株式会社 立地地域部東通事務所
 所在地/青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2番地303
 開設年月日/平成5年7月1日
 所員数/48人



東京電力(株)東通事務所



原子力発電はCO₂排出抑制に効果的!

地球は長い歴史の中で寒暖を繰り返しており、今よりはるかに温暖だった時代もあります。

しかし、現在の人間活動によって引き起こされる地球温暖化は、地球がこれまで体験したことがないほど急速に進んでいる点が深刻な問題なのです。

地球の平均地上気温は20世紀に約0.6℃上昇したと観測されています。

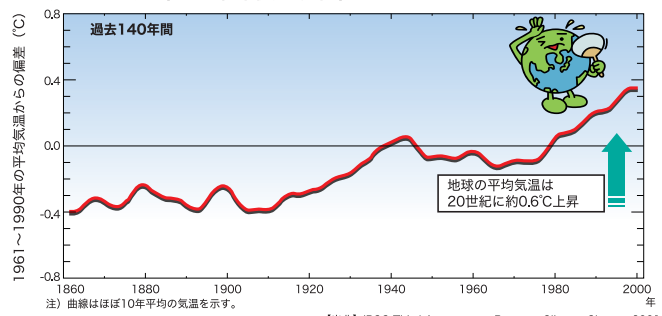
地球全体の気温が2℃上昇すると、南極などの氷河の氷が溶けて海面が50cm上昇するといわれています。

地球温暖化の原因とされているのが、石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やしたときに発生する二酸化炭素(CO₂)です。

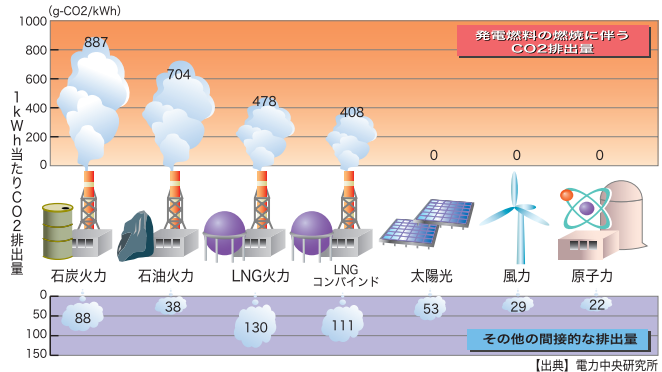
このため、現在、国際的にもCO₂の排出抑制が強く求められています。

発電するときにCO₂を出さない原子力発電は、このような地球温暖化に対する対策面でもメリットがあります。

地表気温の変動(産業革命後～現在)



各種電源のCO₂排出量





〈電気のふるさと電気の消費地 交流事業〉

東通そばの手打ち体験など 今年も都市部との交流事業がスタート!

東通★東風塾

電気の生産地と消費地の人たちの交流を促進しようと平成15年度から東通村商工会を中心に行われている「電気のふるさと電気の消費地 交流事業」。今年度をもっと地域の人々に活動を知ってもらおうと実行委員会の名称を「東通★東風塾」とし、東京の子どもたちが東通そばの手打ち体験を行うなど、趣向を凝らした交流内容にすることが決まりました。



「縁結び事業」(通称)と呼ばれる交流事業は(財)日本立地センターが進めているもので、初年度は「勉強会」と称

して村民と都市部との交流の大切さを学びました。

昨年度は初の試みとして東通村商工会と野牛漁協女性部が「東通村のかっちゃん語ろう会」と題し東京都北区立浮間小学校を訪れ村を力いっぱいアピール。また「かっちゃんを訪ねる会」では浮間小学校の子どもたちや父母、先生を東通村に招いてホームステイしてもらい、漁業や農業体験、郷土芸能などを通し心あたたまる交流が行われました。

今年度は3年目を迎え実行委員会の名称を「東通★東風塾」に決め、塾長に山崎孝悦さん、副塾長に三浦美枝子さんと氣仙善さんを選任。東京電力も趣旨に賛同し、実行委員会に参加する



こととなりました。

今年6月25日、村のかっちゃんたちが浮間小学校を訪れ、東通そばの手打ち体験や東通米でおにぎり作り、東通産大型



外海ほたて焼きの試食、東通村でとれた魚介類を活きたまま子どもたちに触ってもらうなどの内容を計画。7月24日に行われる東通村の牧場まつりには浮間小学校の子どもたちを村に招き、学校ぐるみで交流を深めていくそうです。

商工会の二本柳雄作会長は「昨年から行った都市部との交流では東京の子どもたちが田舎の良さを実感し、地元東通の子どもたちにとっても貴重な経験になったと思います。今年度は教育委員会も巻き込み、小さな村でもこんな素晴らしい環境で勉強していることをみてもらうなど交流内容の充実をはかり、感動の輪を広げていきたいと思っています」と話していました。

特産品の紹介

津軽海峡 大型外海地まき ほたて貝

大きな貝柱で、味が良くしっかりとした歯ごたえが自慢の東通村・野牛漁協の「大型外海地まきほたて貝」。今年も6月から漁が始まり宅配と直販で人気を集めています。「外海地まきほたて貝」は、養殖とは違いほたて貝を

海底にまき自然の状態で育成します。潮の流れが速い津軽海峡の荒波と海中の豊富なプランクトンによって大振りに育ち、海底が砂地なので貝殻が綺麗で貝柱もしまって美味しくなるのです。

野牛漁協では「和洋中すべての料理にぴったりの外海地まきほたて貝。ご贈答にぜひどうぞ」とPRしていました。



●お問い合わせ
野牛漁業協同組合

〒039-0103 青森県下北郡東通村大字野牛字釜ノ平251
TEL0175-27-2151・FAX0175-27-2170



祝！美しい日本の歩きたくなるみち500選記念ウォーク

東通村植樹祭

〈平成17年5月22日〉

東通村尻屋崎において「祝！美しい日本の歩きたくなるみち500選！記念ウォーク」(主催：東通ウォーキングクラブ)

が開催され、東京電力も参加しました。当日は、晴天に恵まれ風も穏やかな絶好のウォーキング日よりとなりました。集合場所である尻屋崎灯台前駐車場にて開会式が行われ、参加者約60人全員で準備体操を行い、体をほぐしたあと、海岸沿いから防風林の中へと続く約6kmのコースを、思い通りのペースで歩いていました。

コースの途中では、尻屋崎周辺の自然を満喫したり、寒立馬(かんだちめ)の母馬に寄り添って日なたぼっこをするかわいらしい子馬の姿に



ウォーキングを楽しむ参加者

気分を和ませたりと、ウォーキングを楽しみながら心身共にリフレッシュすることができました。

尻屋崎周辺の自然を満喫したり、寒立馬の親子に気分を和ませたり！

〈平成17年5月28日〉

東通村の植樹祭に東京電力も参加し、尾瀬で育てたブナの苗木15本を寄贈しました。これは尾瀬に土地を持ち、尾瀬戸倉山にこれまでブナの苗木2万本を植えるなど自然保護活動を展開している当社が、東通村で行っている植林活動に共鳴し昨年から贈っています。尾瀬で自然保護活動を担当する当社の竹内純子は「素晴らしい自然の東通村に尾瀬の苗木を植えてもらえてありがたいです」。



越喜靖夫村長は「自然と共生しながら進める原子力開発。この灯と同じようにブナの木も根づいて欲しいと



寄贈したブナの苗木を植樹

思います」と語っていました。



東通村の自然保護活動に共鳴！
尾瀬で育てたブナの苗木を寄贈！

お知らせ

東京電力株式会社東通原子力発電所1・2号機新設に係る事後調査結果報告書の縦覧について

東京電力株式会社では、東通原子力発電所1・2号機の新設に係る環境影響評価書に基づき、環境保全措置として実施したピオトープネットワークに関して、平成16年度事後調査結果報告書を作成しましたので、次のとおり縦覧に供します。

1. 縦覧期間・時間／平成17年7月13日(水)～平成17年8月12日(金) 午前9時30分から午後4時まで
2. 縦覧場所／東京電力株式会社東通事務所及び東通原子力発電所PR館「トントウビレッジ」 ※7月25日(月)、トントウビレッジは休館日となっております。

＜お問い合わせ＞

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303 東京電力株式会社 東通事務所 広報グループ TEL0175-48-2121(代)



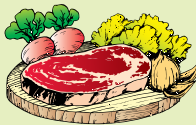
みんなでヨーク考えてみよう！

ゆきしろみず

ミニミニ

クイズ

＜問題＞ 東通村の特産品のひとつである良質の牛肉。最近では各方面の食通からも大変な人気です。



さて、東通村の特産牛肉は「黒毛和種」という品種ですが、黒毛和種は右の3つのうち、何番でしょうか？ 地元のみなさんなら誰でも知ってるネ！

応募方法



答がわかった方はハガキに答え、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見・感想をお書きの上、下記までお送りください。正解者の中から抽選で30名様に図書カードをプレゼントいたします。＜応募締切／平成17年7月20日(水) 消印有効＞ 当選者発表／9月号(秋号)に掲載いたします。



図書カード

送り先／東京電力(株)東通事務所 広報グループ宛 〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303

■当広報誌に関してのご意見、ご感想をお寄せください。また、地元の皆様から広く投稿を募集しております。

●ご意見、ご感想のお問い合わせ

東京電力株式会社 東通事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303

TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019(月～金・平日午前9時～午後5時)

9月号(秋号)の主な記事内容

表紙写真／野牛川レストハウスからの夕景・東電トピックス・エネルギーの扉・村民の笑顔／東通村よさこいチームを取材・イベント参加報告／東通ふるさとまつり・ゆきしろみずミニミニクイズetc

編集後記

初めての広報誌発行!13年目にして念願の当事務所広報誌を発行することができ、まずはホッとしています。「ゆきしろみず」とは漢字で「雪白水」と書き、雪どけ水のことです。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤すということで、我々も地域に浸透し一体となっていければという願いが込められています。どうぞ未永くこのタイトルをよろしく願っています。また、広報誌発行をきっかけに、今後地域のみなさまとさまざまな形で幅広いコミュニケーションを図られたいなと思っています。

次号は9月に発行を予定していますが、地域のイベント・祭りなど楽しいニュースや当社の企業紹介等を含めて、地域とともに歩んで行ければと思っています。改めまして、今後ともよろしく願っています。